

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
	1	名護市特色ある教育環境整備事業	H24 ～ H33					
	①	学習指導支援者配置事業	H24 ～ H33	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。	学習指導支援者17人の配置 対象： 主に配置小学校の3・4年生の算数 主に配置中学校の数学 ※ 小規模校においては状況に応じて他教科も支援する	沖縄県学力到達度調査における県平均との差 ①小学校3年生 算数:1ポイント以内 (参考 H26年度 県平均85.2点、本市81.9点) ②中学校2年生 数学:3ポイント以内 (参考 H26年度 県平均42.9点、本市37.2点)	(今後の展開方針) ・H33年度まで事業を継続し、沖縄県学力到達度調査(算数・数学)において、沖縄県平均を上回る。	
	②	生徒指導支援者配置事業	H24 ～ H33	個別の指導や相談を必要とする不登校児童生徒及び問題行動の見られる児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動を通じた個別指導を行う生徒指導支援者を小・中学校へ配置し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を構築することで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	生徒指導支援者9人を配置 2小学校・5中学校 登校支援、教育相談 関係機関(教育相談室、適応指導教室)と連携した支援	不登校児童生徒数の減少(前々年度比2割減) ①小学校の不登校児童数:7名 (参考 H26年度不登校児童数:9名) ②中学校の不登校生徒数:55名 (参考 H26年度不登校生徒数:69名) 児童生徒の問題行動の未然防止体制の強化	(今後の展開方針) ・H33年度まで事業を継続し、不登校児童生徒数の減少(前年度比2割減)を目指す。 ・児童生徒の問題行動の減少	
	③	小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ H33	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	小中英語支援員10人を市内公立小中学校にシフト配置	児童英検(小5～6年生対象)の平均正答率の向上 小5 ブロンズ:82%(参考 H26年度:80.4%) 小6 シルバー:78%(参考 H26年度:75.4%) 沖縄県学力到達度調査における県平均との差 中学2年生 英語:2ポイント以内 (参考 H26年度 県48.7%、本市44.5%)	(今後の展開方針) ・H33年度まで事業を継続し、沖縄県学力到達度調査(中学:英語)において県平均を上回る。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
④	中学生海外短期留学派遣事業	H24～H33	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	派遣生徒選考人数:12人 事前研修会の実施 短期留学の実施 帰国後の研修会及び報告会の実施	短期留学を実施した結果、英語を学ぶ関心・意欲が高まり視野が広がった生徒の割合:100% 報告会の参加者数:2,000人	(今後の展開方針) ・派遣予定人数 H24年度～H33年度:各年度12人 累計120人 ・派遣留學生のみならず、報告会の実施による波及効果により市内の児童生徒の英語への学習意欲が高める		
⑤	適応指導教室支援員配置事業	H24～H33	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	適応指導教室に支援員4人を配置 通級児童生徒に対する学校復帰への支援 不登校児童生徒に対する支援	①学校復帰できた児童生徒の率:40% (参考 H26年度:通級児童生徒16人中4人=25.0%) ②チャレンジ登校のできた児童生徒の率:100% (参考 H26年度:通級児童生徒16人中2人=12.5%)	(今後の展開方針) ・H33年度まで事業を継続し、不登校児童生徒の学校復帰40%以上を目指す。		
⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24～H33	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校の生徒の県外で開催される運動競技会又は文化関係大会への参加を支援する。	大会等派遣生徒数:80人	文化・スポーツ活動を通じた児童生徒の心と体の健やかな育成を図る。	(今後の展開方針) 児童生徒がスポーツ及び文化活動において全国大会で活躍する機会を増やし、質の高い競技に触れさせることで、児童生徒自身の成長につなげる。		
⑦	小中一貫教育推進事業	H26～H33	平成28年4月開校の名護市立小中一貫教育校「屋我地ひるぎ学園」において、教育課程研究に基づく特色ある取組の実践による学力向上を図るため非常勤講師を配置する。	非常勤講師の配置数:2人	乗り入れ授業・TT授業:1408時間/年 教材研究:352時間/年	(今後の展開方針) 平成33年度まで事業を継続し、これまで研究してきた教育課程の実践的取組や特色ある教育課程の取組支援を行い、児童生徒の学力向上につなげる。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
	⑧	教育用ソフト購入事業	H24 ～ H33	児童の学習意欲を高め、学力の向上を図るため、平成28年度の中学校教科書の改訂に伴う、学習環境を整備する必要があることから、デジタル教科書を購入する。	市内公立中学校8校の3学年を対象とし、主要教科である国語・数学・英語・理科・社会のデジタル教科書を購入	沖縄県学力到達度調査における県平均との差 ① 中学2年生 国語:2ポイント以内 (参考 H26年度 県平均55.7点、本市52.4点) ② 中学2年生 数学:3ポイント以内 (参考 H26年度 県平均42.9点、本市37.2点) ③ 中学2年生 英語:2ポイント以内 (参考 H26年度 県平均48.7点、本市44.5点) ④ 中学2年生 社会:1ポイント以内 (参考 H26年度 県平均53.0点、本市51.9点) ⑤ 中学2年生 理科:1ポイント以内 (参考 H26年度 県平均43.2点、本市40.8点)	(今後の展開方針) H32:小学校の導入 H33:中学校の導入 ・H33年度まで事業を継続し、沖縄県学力到達度調査(国語・算数)において、沖縄県平均を上回る。	
	⑨	学校給食安心安全な衛生環境整備事業	H28	老朽化した学校給食センター内における保冷環境の整備、衛生機器の整備、学校の給食配膳室内の保冷库の設置など各施設の環境に合わせた整備を実施することで、食中毒等の危険を回避し、学校給食をより安心安全に提供することで児童生徒の健やかな成長を促す。	真空冷却機 2台購入 殺菌庫 5台購入 保冷库 19台購入	真空冷却機 2台整備完了 殺菌庫 5台整備完了 保冷库 19台整備完了	(今後の展開方針) 安心安全な衛生環境を維持する。	
	⑩	教育用実物投影機購入事業	H28	名護市の児童生徒の学力向上を図るため、情報通信技術(ICT)を活用した学びの推進が必要である。市内の全公立小・中学校(小学校13校、中学校8校)の普通教室、特別支援教室、理科室に教育用実物投影機を整備する。	市立小・中学校の291教室に設置 【内訳】 小学校 普通教室 157教室 小学校 理科教室 29教室 小学校 特別支援教室 11教室 中学校 普通教室 68教室 中学校 理科教室 18教室 中学校 特別支援教室 8教室	市立小・中学校への実物投影機整備目標達成率 ※第2期教育振興基本計画(文科省)での目標水準 実物投影機の整備(1学級当たり1台) 普通教室への整備状況 100% 理科教室への整備状況 100% 特別支援教室への整備状況 100%	・整備されたICT機器を活用した「分かる授業」を実践し、沖縄県学力到達度調査(国語・算数)において、沖縄県平均を上回る。	
2		名護市地域資源と地域特色を生かした観光基盤整備事業	H24 ～ H33					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24～H33	北海道日本ハムファイターズ春季キャンプへの誘客強化を図るため、観光PRイベントを札幌ドームで開催するとともに春季キャンプに向けた広告やキャンプ期間中における見学者等の安全対策を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保及び見学者の誘致。(シャトルバスの運行/球場周辺の警備員・誘導員の配置) 春季キャンプに向けた広告の実施 札幌ドームで「名護デー」開催(球場入口にて、名護市観光施設・宿泊施設の案内等の配布/観光と特産品のPRブースの設置/試合前セレモニー) 	<ul style="list-style-type: none"> プロ野球キャンプ見学者数 H28年度目標:16,000人 ※キャンプ期間が半月になるため。 (H27年度目標:20,000人) (H26年度実績:28,228人) (H25年度実績:17,125人) (H24年度実績:17,799人) 名護デー観覧者数 H28年度目標:20,000人 (H27年度実績:16,749人) (H26年度実績:23,243人) (H25年度実績:19,095人) 	(今後の展開方針) H29～H33年度:キャンプ支援の実施 名護デー開催 プロ野球キャンプ見学者数 H28年度目標:16,000人 H29年度目標:17,000人 ※H28～H29年はキャンプ期間が半月になるため。 H33年度目標:40,000人		
②	名護市特産品販路拡大支援事業	H25～H28	特産品の販路拡大を行うため、名護市に興味のある事業者やバイヤー等を市内に招聘し、市内においてビジネスマッチングを開催するほか、県内外において観光PRも併せた物産展を開催し、販路拡大および地場産業の育成を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスマッチングの開催:1回 物産展開催:県内1回、県外1回 	<ul style="list-style-type: none"> ①ビジネスマッチング・物産展参加企業数:70社 (H27年度見込:15社) (H26年度実績:5社) (H25年度実績:21社) ②物産展等総売上高:4,800千円 (H27年度見込:4,300千円) (H26年度実績:4,029千円) (H25年度実績:1,152千円) 	(今後の展開方針) 名護市中小企業・小規模企業振興ビジョンに基づき、市単独予算において、地域資源活用事業等を実施し、引き続き、企業の振興を支援する。		
③	轟の滝周辺整備事業	H24～H29	魅力ある観光スポットを活用した、まちの活性化、観光振興に繋げるため、貴重な文化財である轟の滝の周辺整備を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 委託業務 6件(資材調査、現場技術業務、工事監理業務、実施設計(管理用道路)、設備設計(管理施設工)、用地測量) 工事 2件 用地買収 8筆 	<ul style="list-style-type: none"> 管理用道路に必要な用地取得 整備工事、建築工事の完了 	(今後の展開方針) H28～29年度:用地買収、実施設計、周辺整備、建築工事 H30年度:供用開始予定 県文化財指定の名勝地を自然・景観を活かした貴重な地域資源として効果的に活用する。		
④	やがじ夢の懸け橋事業	H27～H29	屋我地地域の地域観光産業の振興による定住促進に向けて、平成27年度に実施した民泊事業者とのワークショップ、モニターツアーでの資源活用及び今後の民泊可能性を基に、地域住民が主体となり屋我地地域のエリアマネジメント計画を検討・策定する。	<ul style="list-style-type: none"> エリアマネジメント計画の検討 モニターツアーの実施(2回) ワークショップの実施(4回) 	<ul style="list-style-type: none"> エリアマネジメント計画 5件 モニターツアーの参加者 30名 ワークショップの参加者 60名 	(今後の展開方針) 前年度の事業及びアクションプログラムを精査し、事業を進める。 H29年度: 民泊等観光従事者60戸(累計)		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
⑤	嵐山展望台周辺整備事業	H25 ～ H30	羽地内海が見渡せる絶景スポットである嵐山地域を観光拠点として活用するため、新たに観光エリアとして整備する。	基本設計 1件	基本設計の完了	(今後の展開方針) H28年度:実施設計(土木、建築) H29～30年度:整備工事(土木、建築) H31年度:供用開始予定 年間来場者見込み:35千人		
⑥	真喜屋運動広場整備事業	H24 ～ H28	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるよう多目的広場としての利用環境を改善する。	整備工事の実施:1件	真喜屋運動広場整備工事の完了	(今後の展開方針) H29年度 4月供用開始予定 施設利用者数 目標 H29年度 14,000人/年 参考 H24～26年度平均 9,191人/年		
⑦	名護市ICT利活用モデル事業「Wi-Fi化整備」	H25 ～ H28	名護市役所周辺に無料公衆無線LAN環境を構築し、名護市の情報配信など、ICTを活用し、外国人を含む観光客等の来訪者への対応、まちあるき観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。	市街地及び観光施設等への整備:4拠点	無料公衆無線LANの活用に向けた基盤の拡充	フリーWi-Fiスポットの整備により、外国人や観光客等の利便性向上を図る。		
⑧	やがじ地域観光拠点整備事業	H28 ～ H29	屋我地地区の地域資源を活かした観光振興に向け、観光拠点機能や体験メニュー施設機能などの調査検討を行い、必要な施設機能などの基本計画を策定する。	基本計画の策定	基本計画の完成	基本計画を踏まえた施設整備等の推進		
3	名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ～ H29	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	自転車レーンの整備率:83.62%(H28整備目標3,660m)	平成28年度自転車指導レーン整備延長3,660mの整備完了	(今後の展開方針) H29年度整備率:100% H30年度全面供用開始 H30年自転車利用増加率 H24(264台)を基準として51%増		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			名護市雇用創出・企業誘致促進事業	H24 ～ H33					
	①		名護市金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24 ～ H33	金融・情報通信関連企業の立地による雇用創出や定住人口増加の基盤となるまちづくりや人材育成・就労支援等を効果的に推進するため、企業招聘セミナーなどの広報イベント・誘致活動を実施し、金融・情報関連企業の誘致を促進する。	・金融・情報通信関連企業の経営者等の招致開催 ・学生・市民向け金融・IT講座の開催:2回 ・沖縄県開催企業誘致イベントへの参加:県外イベント1件、海外イベント1件	招聘セミナー参加企業:10社/20名 学生・一般市民の金融基礎知識の習得:220名 県外イベント来場者数:120名 海外イベント来場者数:200名	(今後の展開方針) H29～H33年度: 金融・情報通信関連企業の経営者等の招致 学生・市民向け金融・IT講座の開催 県外・海外企業誘致イベントへの参加	
	②		名護市超高速通信サービス整備事業	H28 ～ H29	対象地域に光ファイバ網による超高速ブロードバンド環境を整備する。実施するサービス提供に対する事業費を負担する方式を採用し、整備・運用を実施する民間通信事業者をプロポーザル方式により選定し、企業誘致・雇用促進・定住環境の改善を図ることを目的として本事業を実施する。平成28年度においては、整備のための基本設計を実施する。	基本設計の実施	基本設計の完了	H28:基本設計の実施 H29:詳細設計・整備事業	
5			名護市地場産業の活性化及び6次産業推進事業	H24 ～ H31					
	①		優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ H31	名護市における畜産業振興のため、市内の肉用牛繁殖農家に対し優良繁殖雌牛の導入を支援することで、繁殖生産基盤の拡充、強化を図る。	優良母牛導入支援 20頭	優良母牛20頭を導入することで、やんばる和牛改良組合の子牛生産基盤の一部強化を図る。 導入目標頭数:20頭 今年度導入率:40%(全導入目標頭数:100頭)	(今後の展開方針) H27年度～H31年度:毎年度20頭 合計100頭の導入 老廃母牛更新及び母牛優良化促進により、子牛の生産基盤の強化、安定した農家経営を図る。	
	②		農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク)	H24 ～ H28	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。	観光ハウス、栽培ヤード、ハーブ園の建築工事着手	観光ハウス、栽培ヤード、ハーブ園整備の完了	(今後の展開方針) H29年度:アグリパーク全施設の供用開始	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
	③	名護市食鳥処理施設整備事業	H28	新たな食鳥処理施設の整備に必要な用地を取得することによる事業環境の整備を通じ、食肉処理施設の再編や県内鶏肉の衛生・品質管理の高度化を促進する。	施設整備に必要な用地購入	施設整備に必要な用地取得の完了 購入面積:17,668㎡	・HACCP対応型の食鳥処理施設の整備による県産鶏肉の安全・安心の確保 ・県産鶏肉の衛生管理・品質管理の高度化によるブランド化強化 ・食鳥処理羽数 17,000羽/日(平成34年度)	
6		名護市安全・安心のまちづくり事業	H24 ~ H33					
	①	救命処置普及強化支援事業	H27 ~ H31	市民や観光客等に重篤な傷病者が発生した際に、居合わせた方が適切な救命処置を行えるよう救命救急士等の資格を有する人材を配置し、応急手当の普及を強化する。また24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置し、安全安心で観光に強いまちを形成する。	・救命講習普及支援員配置数:3名 ・各種講習会回数 98回	講習会受講者数:2,627人 小学校(6年生655人) 中学校(2年生672人) 事業所・一般受講者(1,300人) まちかど救急ステーション認定事業所(5事業所)	(今後の展開方針) H29~H31年度: 支援員3名/年 各種講習会数 98回/年 平成31年度 市民の半数(約3万人)が救命講習を受講する。 まちかど救急ステーション認定事業者数23事業者	
	②	ハブ対策事業	H27 ~ H33	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいてタイワンハブ等が多く出没しており、やんばる地域の北限が本市となっている。外来種のやんばる地域への拡散を防ぐため、捕獲器の設置を行う。	ハブ捕獲器の設置・点検:180器	タイワンハブの捕獲・駆除数:200匹	(今後の展開方針) H29~H33年度: ハブ捕獲器の設置点検:900器 咬傷事故が未然に防がれ、安全・安心なまちづくりが推進される。	
	③	水難救助車等整備事業	H28 ~ H29	近年増加するリゾートホテルや海上レジャー等における市民や観光客等の水難事故等に迅速に対応するため、水上バイク、牽引車、トレーラーを整備し、初動対応の体制を強化する。	水上バイク・牽引車両・トレーラー各2台 購入	水上バイク・牽引車両・トレーラー各2台 配置(消防本部、出張所) 水上バイクによる水難救助体制の強化	名護市における水難救助体制の強化	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。